

伏見城跡・指月城跡

発掘調査地元向け現地説明会資料

京都市文化財保護課
平成 28 年 10 月 1 日 (土)

所在地：京都市伏見区桃山町泰長老
調査機関：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
調査期間：平成 28 年 8 月 22 日～10 月上旬予定
調査面積：約 108 m²
調査要因：遺跡の範囲確認に伴う発掘調査（文化庁国庫補助事業）

1 はじめに

伏見城は、豊臣秀吉により築城された城です。現在の研究では、築城から廃城までの約 30 年に 4 つの画期（Ⅰ期：指月屋敷、Ⅱ期：指月城、Ⅲ期：伏見城豊臣期、Ⅳ期：伏見城徳川期）があると考えられています。文禄元年（1592）、現在の観月橋団地一帯に想定されている「指月丘」に、豊臣秀吉が隠居所として指月屋敷を築きはじめ（Ⅰ期）、翌年の文禄二年（1593）の秀頼誕生を機に、指月屋敷を本格的な城郭として改築し始め、指月城を築き上げます（Ⅱ期）。しかし、慶長元年（1596）の大地震により、指月城や大名屋敷が倒壊するなどの甚大な被害を受けました。これを受け秀吉は、翌年の慶長二年（1597）に、近隣の木幡山を中心として新たに城を築きはじめます（Ⅲ期）。この際、城下西側を中心に武家屋敷や商工業者が集まる城下町の整備も行いました。秀吉は晩年をこの再建した城で過ごし、慶長三年（1598）に生涯を閉じます。その後、慶長四年（1599）に徳川家康が入城します。慶長五年（1600）の関ヶ原の合戦の前哨戦で主要な建物は焼失しますが、同年の関ヶ原の戦いで勝利をおさめた徳川家康により、翌年（1601）には伏見城の再建が始められ（Ⅳ期）、慶長八年（1603）には征夷大将軍宣下をこの城で受けます。元和元年（1615）の大坂夏の陣で豊臣氏が滅亡し、伏見城は城郭としての役割を終え、元和九年（1623）に廃城となります。廃城の際には、石垣一石まで破却せよとの厳命が下ったため、構築物は残っていませんが、現在でも地形や一部残存する石垣などから当時の伏見城の様子を窺い知ることができます。

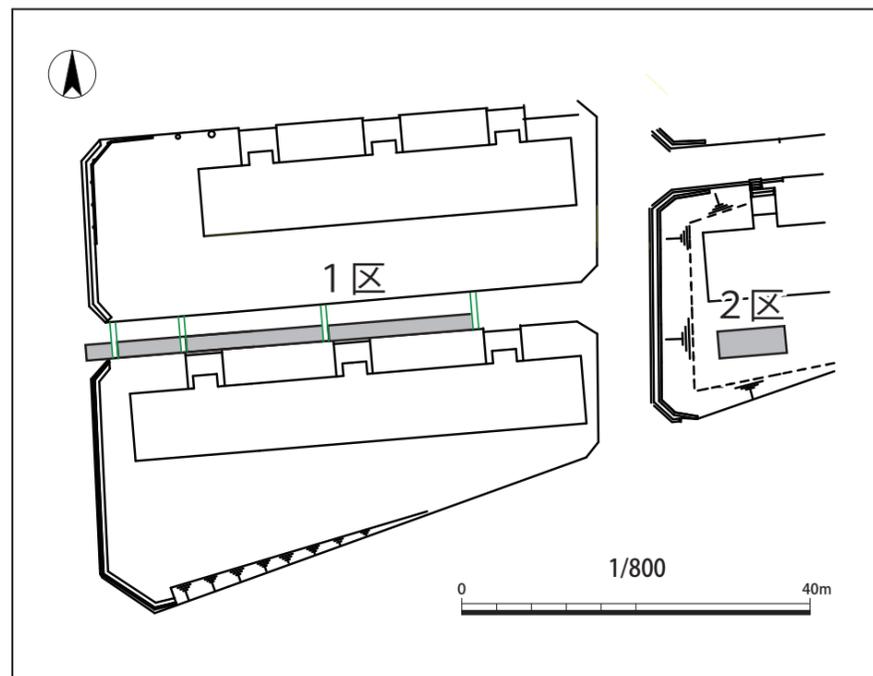
廃城後は、奉行所などの一部機関を残し、周辺の武家屋敷もその役目を終えます。明治二二年（1889）に伏見町が成立し、明治四五年（1912）に明治天皇陵の築造が行われています。また、明治四一年（1908）から終戦まで、京都師団工兵第 16 大隊が伏見桃山に駐屯していました。1960～70 年代に観月橋団地が建てられ、現在の風景が形成されます。

2. 調査について

今回の調査地は、『伏見御城郭並武家屋敷取之絵図』（桃山城所蔵）上では、初代唐津藩主「寺沢広高」、もしくは相国寺の僧侶である西笑承兌さいしやうじやうたいを示す「泰長老」の記載がある場所に相当します。現在の敷地内を南北に通る段差が伏見城期の地形を踏襲している（武家屋敷の境界）と想定したため、段差を挟んで、西側を 1 区、東側を 2 区とし、調査を行いました。調査では、1・2 区ともに伏見城に伴う造成土を確認しました。造成土の中からは、秀吉が使ったとされる桐文の軒丸瓦などの金箔瓦が出土しました。1 区では、造成土を挟んで、柱穴や溝などを確認したことから少なくとも二時期の建物変遷が確認できます。また、1 区の一部では大規模造成を行う前の自然地形も確認することができました。

3. まとめ

今回の対象地は、伏見城下の武家屋敷だけでなく、指月城に関わる遺構も想定できる場所にあたります。これまで指月城の想定範囲内で行われた面的な調査は 3 例しかなく、今回の調査で 4 例目になります。今回の調査で、伏見城築城時の大規模造成の過程と屋敷地内の変遷、および、大規模造成前の自然地形を確認することができたことは、今後、伏見城下及び指月城を検討していく上で、貴重な成果になると考えています。



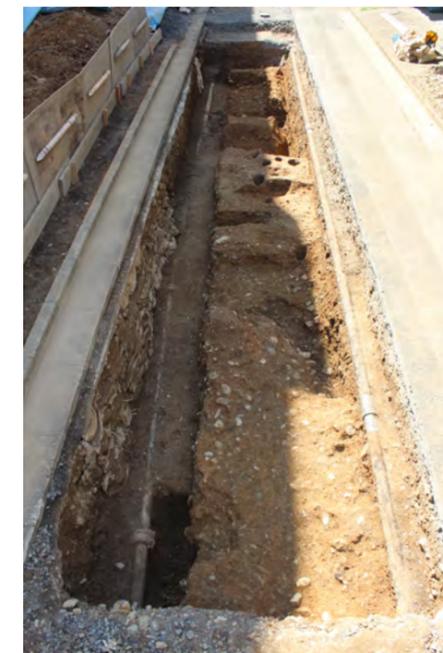
調査区平面図



1区 第1遺構面遺構検出状況



2区 造成土堆積状況



1区 第2遺構面遺構検出状況



2区 造成土中遺物出土状況

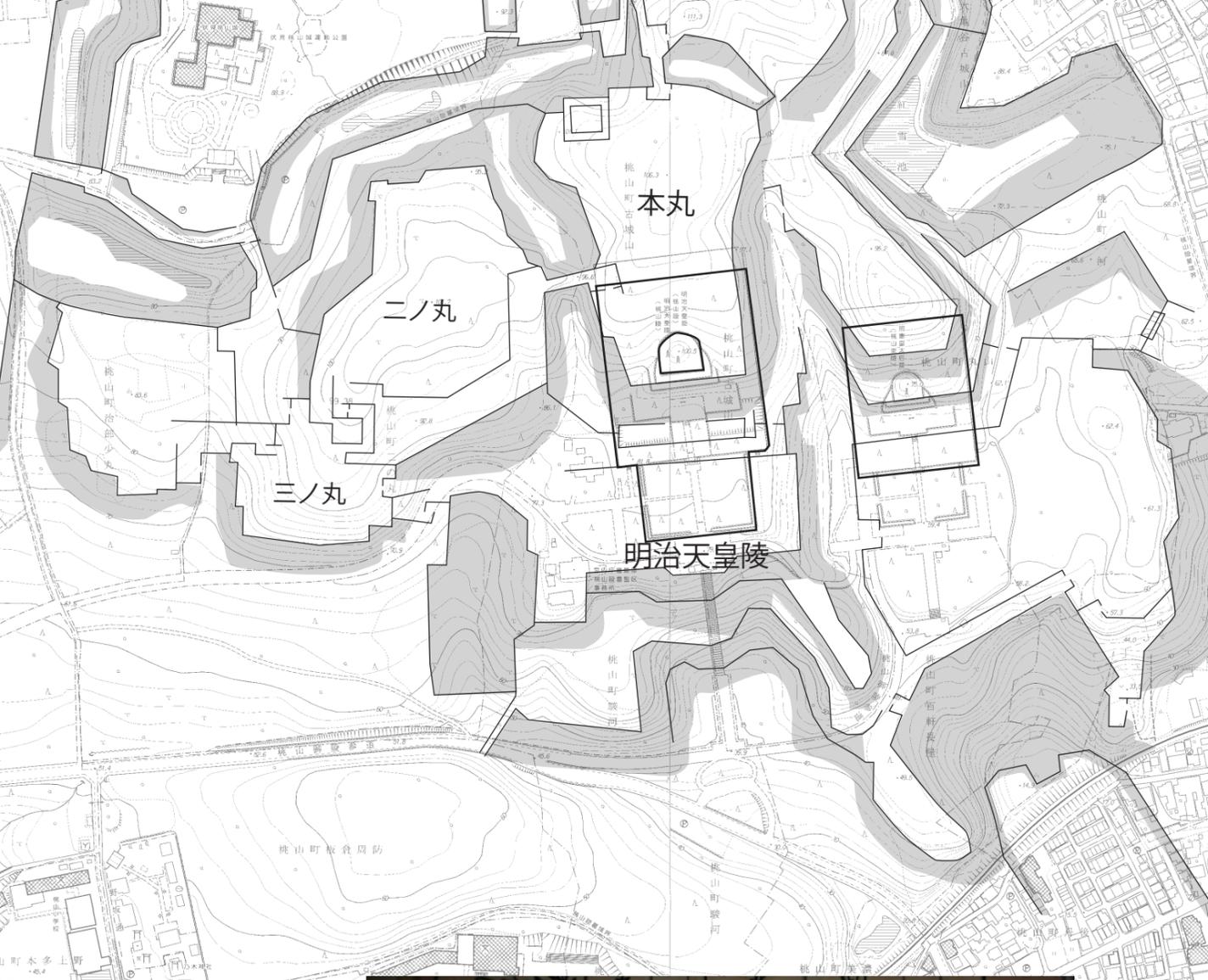


1区 造成土出土金箔瓦



■ 年表 ■

- 1592 指月屋敷
- 1593 豊臣秀頼誕生
- 1594 指月城
- 1596 慶長大地震 指月城倒壊
- 1597 伏見城（豊臣秀吉）
- 1600 関ヶ原の戦い前哨戦 焼失
- 1601 伏見城再建（徳川家康）
- 1623 廃城



近鉄桃山御陵前駅
京阪伏見桃山駅

大手筋

調査1 JR桃山駅

立売通

調査2

今回の調査地

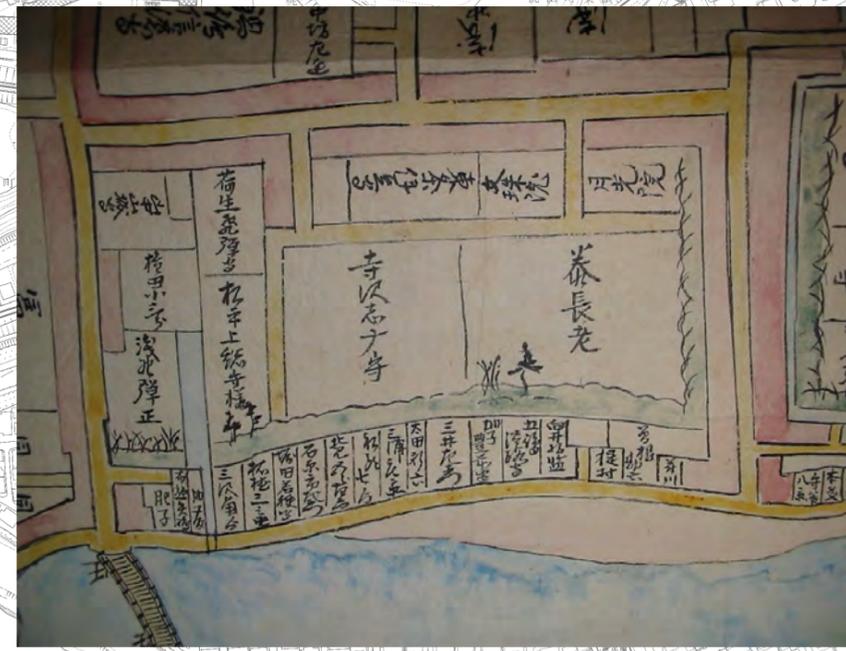
舟入

調査3

宇治川

観月橋

- 調査1 1999年度 (財)京都市埋蔵文化財研究所発掘調査
- 調査2 2009年度 京都市詳細分布調査
- 調査3 2015年度 (有)京都平安文化財発掘調査



伏見御城郭並武家屋敷取之図 対象部分抜粋

0 (1/5000) 200m